

2024年3月29日

各位

株式会社三井住友銀行

野村不動産ホールディングス株式会社との
「サステナビリティ・リンク・ローン」の締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、野村不動産ホールディングス株式会社（代表取締役社長：新井 聡 /以下、「野村不動産」）に対し、同社策定の「サステナビリティ・リンク・ローン フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

野村不動産グループは、サステナビリティポリシー（2050年のありたい姿）「Earth Pride-地球を、つなぐ-」を掲げ、そのポリシー実現に向けて2030年までに取り組むべき5つの重点課題（マテリアリティ）として「ダイバーシティ&インクルージョン」「人権」「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」を定め、取組を推進しています。「脱炭素」についてはCO2排出量削減率の中長期目標を設定し、2020年11月に国際イニシアチブのSBTiよりパリ協定の「Well below 2°C」の認定を受けています。本ローンのSPTsには当該認定を受けた以下の削減中長期目標を採用し、SPTs 達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年3月27日
実行日	2024年3月29日
契約金額	40億円
契約期間	10年
貸付人	三井住友銀行
SPTs	SPT-1 : グループ全体のScope1及びScope2の合計GHG排出量を2030年度までに2019年度対比35%減 SPT-2 : グループ全体のScope3（カテゴリー1及び11）のGHG排出量を2030年度までに2019年度対比35%減

野村不動産は、2023年3月期までに2,000億円を超えるサステナブル・ファイナンスの調達実績があります。さらに、2028年3月期までの5年間で、新たに5,000億円のサステナブル・ファイナンス調達（累計7,000億円）を目標に掲げ持続可能な社会の発展に貢献するための資金調達を推進しており、本ローンもこの取組を支援するものです。

本フレームワークについて、国際金融業界団体のLMA (Loan Market Association)、LSTA (Loan Syndications and Trading Association) 及びAPLMA (Asia Pacific Loan Market Association) にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則 (2021年版)」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (2020年版)」に適合する旨の第三者評価を、株式会社格付投資情報センター (R&I) より取得しています。

SMBCグループでは、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

野村不動産ホールディングス株式会社ホームページ：

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター (R&I) による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。